

照明灯

17兆9845億

円。経済産業省が先月発表した、2018年の電子商取引の市場規模だ。前年比8・96%増と右肩上がりが続く▼消費者に浸透したネット通販だが、「ラストマイル」と呼ばれる物流拠点から各家庭までの配送網に異変が起きている。2年前、宅配便最大のヤマト運輸が運賃を引き上げ、荷受けを減らしたことを記憶の方も多いだろう。ドライバー不足、再配達増加などで現場は極限状態にあった▼危機感を抱いたネット通販業界で、独自の物流網構築を目指す企業も出てきた。楽天もその一つだ。同社は7月

から、消費者から注文を受けた商品を小型無人機（ドローン）で配送するサービスの実証実験を横須賀市で始める。市内のスーパーの商品を約1・5キロ先の無人島の猿島までドローンで運ぶ▼神奈川大学の齊藤実教授著「物流ビジネス最前線」によれば、国家戦略特区に指定された千葉市が進めるドローン宅配構想にアマゾンなどが参加している。同社はまた、川崎市の物流施設で商品棚を自由自在に動かすロボットを国内で初導入している▼ドローン配送は過疎地の高齢者など買い物に困る人へのサービスとして有効である。配送の無人化を含め「ラストマイル」を巡る攻防は今後も激化しそうだ。